

バストス週報

第九百四十二号
昭和三十年
一月十二日
発行

DIRETOR
KOITI MOKI
—
REDATOR
SHION UDA
—
RUA PRES.
VARGAS 188
C. P. 112
BASTOS

代誌
一〇年
80400

怪魔 ニューカッスル病に

侵入されたら? ? ? ?

バストス養鶏の壊滅必至

恐るべき鶏病ニューカッスルはリオ州近で再び盛衰をふるい始め、まさに聖州に侵入せんとしている。聖州近郊ではその為め、いかにして之れを防止せんかと官民共に必死の防疫に當つてゐるといふ。もと聖州附近に発生した。ついで奥地に蔓延するは必定、養鶏村バストスの壊滅はさけがたいであらう。

バストスには初期に於て珈琲の失敗し、棉の転替したが思はからず、養蚕も一時盛んであつた。大戦終末と共に苦盃をなめ、近時やうやく養鶏によつて更生せんとしつゝある大地な時、ニューカッスル病の如き怪魔に侵されんか、バストス産業の大系養鶏は、どんな悲慘な事態に立ち到るかとも判らない」と既に過股未より種鶏場に於ては物々しい警戒を以て萬全を期して居る由である。

コチヤ産組に於ても古田土技師を派遣してバストスでは相中主任が案内に立つて養鶏家を歴訪し、厚なパンフレットを配布して注意を喚起しつゝある。

その他南伯中央産(ジュー)でも中央会系統のバストス産業組合その他個人商社も此のニューカッスル病防衛に於ては極度に神経をこがらし、自身の立場に於てそれ警戒を厳にしてゐる様相である。

前述の様には各自組合を中心として充分な覚悟を以て善処するに、相手は目に見えないウイルスの事である。いついかなる経路を辿つて侵入してくるか判らぬ。せいともしは各組合各商社共同戦線を張つてバストスへはセツタイ、ニューカッスル病を入れない体勢を作る必要があるとの意見が既にあつて盛り上つたのであるが、誠に當を得た考である。

ニューカッスル病防衛対策委員会成る

去る一月十一日夜コチヤ倉庫サロソでニューカッスル病に關する座談会が開かれた。参加者は山根立太、浅井澄、畑中仙次郎、古田土コチヤ指導員、長橋智、中島善治、西本清人、佐伯重啓、水馬大、の諸氏、何れも組合主幹部の人達又は鶏卵商社の代表で、当夜の座談を録音してお

Alfaiataria Imperial

イヨウ ニュー スカール ドコデ? モチ...ボクラ、マルヤマヨウフケン



丸山洋服店

時計をお求めになる時は 信用あるマルカを... 信用ある店からお買上下さい

弊店は多年ツッパンにて内外人の皆様から御信頼を受けて居ります。ツッパンにお出ましの時は 申立あより下さい

RELOJOARIA CONFIANÇA
T. NAKAMURA
TUPÁ

ツッパン市 エスタシオン ロドヴィアリヤ前



貴金屬類、めがね、巾着、其他

中村時計店
C.P. 504

こうと連日日本田正雄氏からレターを準備し、週報社からも傍聴に出かけた。当夜座談の終る頃、この恐ろしいニューカッスル病をバストスに侵入せしめぬ為めに各組合各商社と結成するニューカッスル病防衛対策委員会と結成することに賛成即座に役員を決定する迅速振りがあつた。

委員長 畑中仙次郎氏
副委員長 水馬 久氏
委員 中島、長橋、山根、西本清氏
(大席の、岡本、阿部氏に通知連絡)

技術員 浅井澄氏、岩田茂次氏

この委員会はさし当りニューカッスルが目標であるが、行々は養鶏家を損傷する連絡機関

図に於て存続せしめ度いとの希望である。のさしあたりこんな仕事をやるか？

第一にニューカッスル病が恐ろしい病であることと一般養鶏家に充分認識してもらい各自の自覚を促すこと(文書又は講演による)

第二、ニューカッスル病の病原体ビルスの侵入を防止する為、媒介者の多いと見做される鶏卵輸送箱及ハイケイ箱の消毒。これは云ふ可くして実行困難だがハイケイ箱は山根氏の言ではコンクリート槽に消毒液を充たし一箱浸りて実行して貰うから消毒可能である。卵箱は針金がさびるから蒸気消毒の最善であるが数量が多いので困難が伴う。

第三、各養鶏家が鶏舎の出入りに消毒液を浸したサッポコ様のものを置き、その上をふんで通ること。これは一例であるが各自の心構えが必要。

第四、鶏糞取扱注意。鶏糞にニューカッスルのビルスが沢山ついている。非常にキケンである。鶏舎の消毒。

第五、非常の場合にはワクチン注射を執行するが、予防注射は目下の情勢では余りす、めづれない。

第六、万一ニューカッスル病とおぼしき鶏を発見した場合、又は斃死した場合、ガソリンをかけて焼却すること。浅い穴に埋めて火が燃りだしたら一度にビルスの蔓延を助成する結果になる。以上の様な個体を委員会に於て充分実行に移し得る様研究し、各養鶏家と連絡をすることになるであろう。

既にバンテラコチヤ共、ニューカッスル病に關するパンフレットを發行して各自の注意を促して居るのでここに之を再録するのは無駄のようであるが、主要な処だけを紹介する。九十九人がニューカッスル病に對して萬全の対策をとつても一人の無知、没常識な人が、ホホンといておれば十里の堤、穢の一穴よりおぼしき例にもれず、不測の禍を招くこととなる。

万一の病気がバストスに侵入したときのことを想像するとき、思ひまはれにさるものがあろう。バンテラコチヤ組合或は井枝師の話によると三四年前大阪地方にビマンした三カ所、ウズル病は七十萬の鶏を半減せしめた。さうなるとある。が、ついで京都に蔓延せんとしたとき京都府のつた措置が適切であつた為の大東に至らなかつた。この話を以てしても、対策と措置がいかに大切であるか判るであろう。コチヤ組合の古田土指導員の話、一昨

樂店儀これまで主として馬具に力を入れて居りましたが、此の度

労働靴
パシア靴
婦人靴
テニス靴

Casa Nagayoshi



取りあつかう
こととなり
ました

丈夫な
高尚な
よい靴を
安價に
さしあげます
ぜひ共一履
御いで下さい

ホト デロビリア前
永吉商店
馬具並製靴店
C.P.4

これは実に筆紙につくしが、二万三万といふ大フランジアが、片はしかりバタとやられ全く手のつけようがなかつた。結局それ本病に對する知識と経験が浅く、官庁の方も、あまり考へていた報いといふ外はなからう。今度再びり方に發生した処を見ても本病のビルスの中々死滅しがたいものであることが判る。本病は鶏を侵すのみでなく人体にも有害である。このビルスは研究中の學者の眼に毒素が入つて失明した。ある養鶏家は自家のニューカッスル病の鶏を解剖し片手で自分の眼をこすつたところ忽ち失明した。油断はなうぬ。

玉子祭がバストスは有名な養鶏村と云つたが玉子祭はもうエーがである。今度のような場合お互に、手を組んで各々の産業を守る可きであらう。なる可くさういふ病気がはやつ。玉子の餌がホンとはね上つて、黄いれはオラとこはガンニヤすべいなどといふ人が假りにあるとすればニューカッスル病は怪魔の如くバストスに侵入すること必定である。どうかバストス全体の目撃の問題としてしんけんを考えたい。いなき。

(未完)

三野善一様 杉山光子様 早川栄松様
 西川誠一様 伊島善一様 池田正雄様
 真下誠一様 有北みゆ様 後藤利一様
 北野巽吉様 高橋トウ屋様 島本義松様
 浦本 吹本 岩田武代治様
 木口正光様 重道永栄様 池田ルイス様
 森元武男様 山中千ト様 戸田幸幸様
 大井 池田佐次郎様 中京一郎様
 永橋智様 藤本栄治様 奥田 耕様
 池内米藏様 藤崎ヨシヨ 上田哲夫様
 鏡畑吉田様 山下信吉様 浅原昌男様
 鏡畑十代子様 伊勢昌輝様 藤元貞雄様
 山陽之助様 蔵力千秋様 大井克彦様
 上西恭治様 日若 義 川内義輝様
 三次商店様 西本 人 桑 元 様
 山本尚花様 小茂田 水鳥久 様
 畑中忠雄様 石田光助様 大野英雄様
 橋本光義様 宮城安市様 石瀬 勇 様
 佐藤彌太郎様 古沢商店様 魚名 氏 様
 (以上)

御 礼
 金貳百針也
 当疎青経費の一部にと御寄贈下さいました、感謝いたしです
 本 田 正 雄 様
 バストス疎合青年団

御 礼
 過般疎青と芝居する時脚本を付書下さったの上実演に到る迄詳細御指導下さったことを爰に有難く御礼申し上げます
 島 本 進 様
 バストス疎合青年団

御 礼
 青年団交際の演劇を閉まりました御ひいきとありまして左の方々より当団へ多大なる御花を頂きました、厚く御礼申し上げます
 バ ス ト ス 劇 団

小茂田英昭様 古沢 商店様
 戸田 幸 島 本 昇 様
 佐藤一男 吹 本 次 男 様
 広瀬 勇 三 次 商 店 様
 西 徹 早 川 歌 店 様
 高橋トウ房 山 中 陽 之 助 様
 石橋長見 佐 藤 彌 太 郎 様
 遠 兼 社 本 田 光 様
 橋本彦隆様

来る一月二十三日 午後八時より
 バストス産業會館に於て
生長の家
 講師 福島亀之助 先生(可文)
 亀井 静江 先生
 心を洗ひ浄めて 幸福な日々を築き過しませう
 お誘い合せ皆様の御来場を
歓迎 いたします
 生長の家
 バストス誌友相愛會

御 し ら せ
 昨年、聖市總支部會館建設の為のリーフを皆様にお願いして貰っていただき、ありがとうございました。誠にありがとうございます御座いました。リーフ選の結果は左の通りです
 生長の家バストス誌友相愛會一同

No.1	No.2	No.3	No.4	No.5
五〇八三二	四四二五〇	四〇二五三	一四三三三	四三三六八
一五三八六	四八九二〇	二四一三三	二二二四九	四一三六六
カミランゴ	ヒラキキ	聖市	アリアンサ	トハン
吉崎敏雄様	橋本豊子様	鈴木徳也郎様	上村雪雄様	坂上竹次様
伊津野教嗣様	橋本万藏様	日山ビガ招様	草場 伊持 伊太郎 全	三島 亀井レズエ

一等の当番号 五〇八三二
 一五三八六
 同番号十の位以下が一致するものは七等
 バストスの当選者
 六等 四二、三八六 木村マス子様
 三三、三八六 吉浦弘光様
 七等 三七、三三二 藤元照也様
 四三、八六 伊藤サツキ様
 (以上)

謹告

皆様の御愛顧に依り當エビス会の年末連
 合大売出しも好成績を以て十二月廿一日
 が終了いたしました。
 つきましては左記の如く景品当選者を発
 表御愛顧を頂きました皆様には紙上を以ち
 まして厚く御礼申し上げます。
 一九五五年一月五日

エビス會歳末連合大売出し

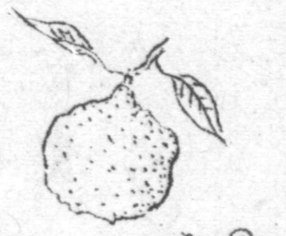
各位

車運の方々芳名

- 特等賞 中央 村崎ジュリオ様
- 一等賞 中央 紫藤 唱
- 二等賞 中央 ソルゲドガワシオ
- 二等賞 中央 松泉 たいけい
- 二等賞 中央 白石 よし
- 三等賞 中央 石田 道春
- 三等賞 中央 今野 林次郎
- 四等賞 中央 信太 産業組合
- 四等賞 中央 渡辺 時美
- 四等賞 中央 渡辺 時美
- 四等賞 中央 古右 清一
- 四等賞 中央 野川 金作
- 四等賞 中央 高ススキ 勇治
- 五等賞 中央 上田 儀七
- 五等賞 中央 内藤 義
- 五等賞 中央 ソルゲドガワシオ
- 五等賞 中央 岸 勇
- 五等賞 中央 吉田 裕夫
- 五等賞 中央 電田 義
- 五等賞 中央 相本 誠治
- 五等賞 中央 三鼓 梅一
- 五等賞 中央 石田 幸雄
- 五等賞 中央 北谷 幸雄
- 五等賞 中央 平本 清人
- 五等賞 中央 西本 慶次郎
- 五等賞 中央 平藤 慶次郎
- 五等賞 中央 ソルゲドガワシオ
- 五等賞 中央 阿部 二郎
- 五等賞 中央 前田 二郎
- 五等賞 中央 エスペシャル副賞獲得者
- 中央 中川 水若 勇
- 中央 中川 樋口 内
- 中央 中川 大河 内
- 下段へつづく

カスガジ 山中 三郎 様
 ハラチ 中村 守 様
 フルゲオナの外 人 様

模様など御指定の景品が包装中多少入
 替った点もありましたが何卒御諒恕下
 さい。



ポンカン苗

御注文に應じます
 樹数一千本限り依頼を
 受けて居ります故

御入用の方は、至急御申
 込み下さい。

ルイ・バルボイ 街
 家政学校の向隣

上 西

今が最も移植によい時です。
 此の快適時を、にがさないように。
 柑橘類の王者ポンカンの苗。

聯青文化作文

三等二席
 4Hクラスの講習會に行つて

中央女子青、溪多磨子

一昨年4HCの永田 桐先生がおいでに
 なった時母につれられて會館にお話を聞
 きに行きました。私にはむづかしくて何
 んにもお話しがわからず、たいぬむたいの
 をがまんしてかえり、4Hクラブがどん
 なことであるかわからず、ごししました
 が、此の夜私たちのために講習會をして
 いた。少くは、わかおたように思いま
 した。
 4Hクラブはヘッドとヘルス、ハンド
 とハートの四つの頭字を取ってこれをク
 ラブの主意として出来たもの、おしえて
 いた。ききました。でも多くの人、これを
 完全にそなえて居る者は少いでしょう。
 頭がよければハンドである実行力にかけ
 か、心にかける、人の事など考えない、自
 分さえよければいいと云う人が多く、又
 いくらかの三つかよく出来た人でもヘル
 スの健康がなければ、なんにもなりません。
 二人な感じ、きかされて4Hがいかに大

6
 功であるかとうながかれました。今後の社会をになつて立たなければならぬ。私たちが青年は此の4月1日の心をもち、全人類の永遠の平和と幸福の爲めにつとめて4ヶ月の間の意にそうしようにつとめたいものと思ひました。(了)

蛇の子

アルト女子青 小野田敏子

ある日私は妹と二人で桑島の中の蟻殺しをしていた。私がオムカドールを使い妹はアジダクテであちうちうら蟻のあなをさがしていった。私が作業して居る蟻の穴がつかまつたので、あけてみようと言つた。何かおどろいた様に声を上げて、何かに来た。それは何となくの桑畑のへりに六匹の子がのぬけがらがあり道には三十匹、二十匹のオムカドールの子が死んで居る。よ、またしが昨夜チチオカカニオネツテで来た時ひいたのだらうと言つた。私はまだそんな小さな六匹の蛇のぬいだ皮を人が見たことがないのを見てたくなつて妹に私のかわりをして、ちやうどいと言つた。妹はもう穴はエンシヤの力カホでタンパしたよとすましている。でもいいからと言つて妹にマキナを渡して私はエンシヤの力を持つて行つて見ると、なるほど妹の穴がある。あの皮をぬいだのもこのカスカベールじやないかと思ひ、そうするとまだ五匹そこらにあるのだから、その穴の中に居るのではないかと恐る。エンシヤで掘りはじめた。固いと思つたら、そこは木のくさねた根であつた。少しづつカスカベールと同じ大さの蛇が丸くなつて根の皮の間に居た。へびが居ると言ふと、妹はサルカドールを置いて走つてきた。引きまくり出そうとして、エンシヤで木根の根が邪魔になつて思ふ様になつた。おまけに土がつかたので、どうも蛇は中にすく、と入つてゆく。私は逃げまじまいと一生懸命に掘ると、エンシヤの柄がぬけてしまふ。急いで土のかたい上をたいて又掘りつづける。又柄がぬけると、へびは一匹二匹と出てくる。皆中に入つてしまふ。一才位掘ると木の根が動いた。蛇の子がぬる。白い物があり、そのまわりには蛇の子がぬる。動いていた。良く見ると、その白い物はカスカベールの卵であつた。それは丁度ナンブの卵位で皆一つ一つがつかまつてはりついている。やつと持功川で引出すと、その下に三、四センチ位のオムカドールが沢山舌をペロペロ出して居る。私は恐ろしくなつて来たが

出てくるのは棒でたたき殺し、出てこなければ皆二本の棒でたたき殺し、出てきた。一所に集めると又その下蛇の出たから卵がある。その卵も出すと、何となくにはへびの子がもぢやうじの様にまっ黒に居る。ではないか、私も妹も恐くて誰か来てくれないかと方々見たがだれも来ない。しかたがないから又これ引きつり出して殺し道に出す。やつと皆出して殺して見ると三十センチの子が三十三匹、二れから出る卵が三十九、それ皆一つの穴に入つておつた。二人の兄が断に行つて、さすので、お母さん連にだけても見せて上へ様と思ひ、妹に叫びた。やつた。その間に卵を割つて見ると十五センチ位の蛇の子が袋の中でびくびく動いて居た。その内お母さんとお姉さんが来て居た。残り沢山居たのでびくびくして此のまま埋めるのはおしいから、寫真でも取つて置いたら良いがねと言はれた。それから私は妹と卵の中のへびも皆殺して前に出した穴の中に埋めた。それから蟻殺をするのも恐くなつていそいで家へ帰つてしまつた。(了)

評(珍らしい素材で、ヒントも露出も正確であるが文章を今少し推敲者著するとすこいものなり相だ)



新年将棋大会

主催

バスター週報社

バスター将棋家好家スルース

試合方法

A級 B級に分ち、トーナメント
 又はリーグ戦
 余リテナカ多き時はB級を更に二組に分つことあるべし

期日 二月十三日正午より

場所 週報社サロン(但し、他によきところあれば変更します)

會費 五十針 (ばんとう代カネ一代)

申込 一月廿一日より二月六日(受附)

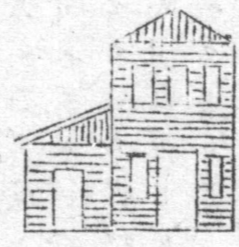
審判 小橋添えて申込まれ度し
 谷口ニ段 交渉中

世話人 石橋三男 板垣吉也、浦大輔言

賞品 各商社後援内諾につき、多岐
 賞品御寄贈の申出であり
 感謝いたします

七等	四二二三二	榎原 義一様
〃	八二八六	新津 牛丸
〃	八三三二	山本 一男
〃	八三三二	広瀬 栄吉
〃	一三五八六	早川 栄相
〃	一五六三二	中浦 芳幸
〃	一二七三二	小沢 勇
〃	二六五八六	外ハベシトヘラ
〃	二六六三二	木場 仙次郎
〃	二六六八六	藤原 荒次郎
〃	二六七三二	龜田 亮樂
〃	三七二三二	込田 幸一
〃	三七二八六	木内 篤
		以上

賣り家



場所 アネマルバロス街
シネマ館 向ヒ
マツタ 二〇米×四〇米

家屋 木造 二階建

階下 二一〇 平方米
二階 三七 平方米
三室

台所 風呂場 便所 井戸

右 都合により至急賣却いたします

御希望の方は左記、

委細 面談

大阪屋

山中 三治

バストス寫真同好會

は、中々やるね！

聖市四百年祭寫真展にバストス寫真同好會から出品した作品中左記のもの入選
大いに氣を吐いた。

二等入選 フロセツソン

三等入選 猫

上ノ島 晴雄 君
宮崎 将 義

佳作

ランバリー 全
仲よし 早川 栄相

國際寫真展 バンネイランテには左の諸君入選

佳作

野花 安齊 成丈 君
宮崎 将 義

バストス寫真會は、これよりと、國際水標に達している証拠 かんぱれ！

御 礼

三町連合革末革坊大売出しには皆様の絶大な御支援によりまして、御礼を以て御期以上の盛況に去る一月八日を終了いたしました
あつく御礼申し上げます

三町連合商店連盟

幸運の 方々

- 特等 ミシン一台 谷口 元子 様
- 〃 ビデオ一台 G 佐 竹 様
- 〃 老穿 フリスクリラ 中央 西本 しのぶ 様
- 〃 F 区 中 川
- 〃 中央 伊勢 忠雄

式等以下は紙面の都合上省略いたします

セラリヤは

福太郎さんのひとりブタイ

昨年十二月週報最終号にバストスのセラリヤを賣り物にお出なされたのって、たので、これはよい物が売りに出た、安かったら買ってもいいなと金もないのに糸音といふ老人が探りを入れたと思いなせエもともとバストスのセラリヤはスラ柄が元祖で移住地移管の建前から産組に譲渡することになったのだから、戦中戦後以後政府に押えられアレヨ、と云う間にコキナをはがしてどこかへ転売されてしまった。政府がそんなケチなことをするわけはないのだが、そこをそれ役人象のヤクトクとやらで煙のごとく消えうせたり。当時佐藤福太郎さんは組合の理事でもあり、そのセラリヤの正しさを外したのだが、あつと云ふ間にマキナを外してよそへもってゆかれたので、トンビにあぶらけけさらわれて、ヨイ、などとヤツト節を唄ひまわらない、いきなり失業してしまつた。涙をのんで福太郎氏は一時聖市へ転出、忽ち万金をガニニヤしてバストスへ凱旋した。その福太郎さんを中心にして悪友(?)、これは書きませんが、(締められるかな) 善友のモロの金持ち仲間が集つて、合資会社セラリヤ・バストスを再建したのは、あけて一昨々、爾来順調に営業して来たので、福太郎さんにとりもって、大連中が手を引く為めに天下に声明書を出す意味の広告となつた。福太郎さんはいよいよひとりおなじみの福太郎さんの前途を祝福する為め、養室でも鶏舎を建てるときはセイサイモノを御使ひ下さるよう、たのまれもせぬ大提灯をともし次第です。(広告)

おわび

本誌第447号(新年号) 藤日會役員の中、兼業部長・太郎田衛さんの名を誤名共書きをとしてしまいました。申しわけないことを致しました。(左者係)

家政学校入学受付

バストス家政学校は一月十五日から新入学生の受付を開始する。必要などとの人と持参。おまかけ下さい

サン・ジヨセ中学だより

去る一月十一日よりサン・ジヨセ中学ではセクンタ・エホツカを始めの事となり、同時に本年中学入学の志望者の為めアレパラトリヨを開校する事となつた。

すべて問合せは本校日本人部招本久雄氏へすること。父兄はよく同氏と連絡をとって下さい。

一九五五年

新年暮會

(浅井ニ設歓迎)

去る一月九日バストス回務俱樂部新年暮會は浅井ニ設歓迎を兼ねて午後九時開会。カリリヤ、ランシヤより多数参加廿六名の大会となつた。場所は旧産組事務所であるが昨年綿でもうかつたので、ほつておいては朽ちてしまふ古建物をレンガで組なほした新築同様の倉庫。暮會がコケラ落し兼イナカラノンであつた。成績尤の通り

1位	谷口又之助	(五級)
2位	東ビトリオ	(四級)
3位	中島善治	(初級)
4位	岡本勲	(二級)
5位	青木	(二級)
6位	青島ランシヤ	(一級)
B組		
1位	片寄寿一	(十一級)
2位	塩飽康夫	(十二級)
3位	氷口博	(十四級)
4位	石田三三	(八級)
5位	藤田三三	(十一級)
6位	滝谷三三	(八級)
C組		
1位	高田重利	(八級)
2位	田中ランシヤ	(五級)
3位	大河原ランシヤ	(八級)
4位	高橋三三	(八級)
5位	高橋三三	(八級)
6位	高橋三三	(八級)

大好評裡に第三回入荷迄の

フオゴン・フライッフスは全部

一般の要望に應え

近日又々入荷いたします

これからのお客様には特別サービス
石油一罐おそえいたします

東ビトリオ事務所



世界最良のマルカ

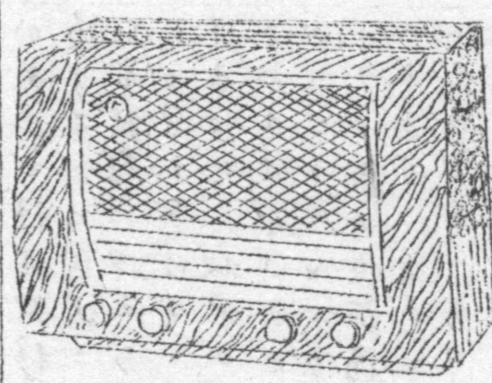
ラジオ・フライフス

最上のコンジソン

十ヶ月プレスタソン

どなたも一日も早く……

お申込み下さい



ラスカ II アロエーラ

長さ二米一〇センチ

一打一五〇〇程度

鶏舎・養蚕室 建築用

ハリツカケタ

によい材料があります
特に安く仕上げます

レンニヤ

ナジヨロ
煉瓦 二万枚

賣り物あり 御用命下さい

エスペランサ(一品)

小学校より少しさき

川上

君はでかした

長橋 齊さん、めでたく
州立工科を卒業す

長橋 齊さんといつて判らなけれは、ジ
ユケリではない南田産業バストス出張所
長橋 智(ともし)さんの弟さんと云った
ら判るであらうが、年一回位バストスに
も帰省しないし、帰つてもフロタレツソ
正の母者人に会ふだけで、シスターへも
歩を向けない変りぢねである。そのヒト
シさんは、賞の功を積んで本年一月十七
日めでたくサンパウロ州立工科大学を首
席卒業することになった。亡き父親長
橋 長四郎さんに靈あうは墓石を掘り動か
して感泣するであらう。感激の快事である。
ヒトシ君がリンズ中学校の二年の時父
の長四郎さんは、腦溢血で倒れた。長兄智
さんの家計も今日のように未だ大膽石と
は云へず、学業を捨てて帰省せんが、他
に収入の途を遣はさず、母刀自と衣見は
並々なう決心を以て弟の学業をついけ
させろ事になつた。お母さんや兄さんに
勵ましてヒトシ君が立派な人になつた
う十一年ばかり前だった。足さんもお母さ
人も、たゞ一途に一人の弟の卒業を祈つた
甲斐あつてヒトシ君は州立工業の応用電
氣科をめでたく卒業した。卒業式の晴れ
の息子を見る為めに、お母さんと兄さんは
一月十六日早朝出陣することになつてい
る。此のオリテラニ力は程度が高い為め
によりつさがたく、ペ線附近で同校を出た
のは長橋君が最初らしい。同君の優秀性
は早や事務局の認むる所となり推されて聖
市役所の技師として就任したといふ。
同君のかわつて、いる点は日本語がよく
出来て生長の家の書物によみ、之を前
語訳して他人に説かせ、大分信者を作つて
いるといふ。その次は、かくもたる乗道家
で、実力初級以上、佐藤の惣ぢやんにはま
けるが、その他、連中、とて扱はるも、
かもある。大変な世話あつたのまれる
か、いやといえない。元ちご米揚ましの部
表といふから、聖市遊学を希望して、
青年の何か、たのみたいことがあつたら、
手紙を出すと、い、
それにして、半分働きたら十年にあま
る歳月を学業一途に熱情を傾けて、見事工
学士の学位をかち得たことは、何といつ
てもすばらしい。
輝んでヒトシ君、お母さん、智さんに
おめでとうを申上げよ。

忘年会とそいひの電話か、りけり 抱葉
年忘れ内翰ばかりの、のしきまん 菊子
忘れのこるやせ鷄しめて、年忘れ 植木

総領事館を

ベンタツツする

去る一月十三日聖市の女傑正岡冬子女
史を迎えて例のサクラ組に閉する話をき
く会を正午より池田旅館で開催した。席
上正岡女史は旧年十二月月上旬サンテン
ドレーに立てこもつたサクラ組を訪問し
た時の印象及聖市の総領事館の対度につ
いて一応の処見をのべた。
正岡女史の言をかる迄も、サクラ組
キ印に対する日本の総領事館(建物では
ない)の態度なるものは、とんなに安く見
積つても落第点である。決して悪口を云
うのでもない。もし、総領事館の役人氏た
ちがあれで充分だと思つて居るとしたら
サクラ組以上だ。と思つて居るとしたら
さる処、正岡女史の情熱が遂に、昨日
本人会を動かしたようである。
結果から見て、或は駄目かも知れませ
が、サクラ組サクラ組中十三家族を出して
いるバストスの鉄々たる皆さまが、扶手傍
観なさるとは、見まされん、どうかコロニ
アの歴史をこれ以上よごさないように連
日会から人を送つて、総領事館をベンタツ
して下さい、お願ひいたします。というの
が、史の熱である。
「さういふ風に、ベンタツしたもんぢやろ
というの、が、連日会の当日出席した方々の
い、つ、わ、り、な、い、肚、である。
よく考へて見ると、全く之れは、明るい解
決の、こ、み、得、べくも、ない、大、げ、敷、い、問、題、で
ある。総領事は、サクラ組の、処、理、テ、キ、セ、ツ
なる、功、に、よ、り、近、く、本、者、に、か、へ、り、も、つ、と、い
い、椅子、に、お、す、わ、る、情、勢、と、の、事、何、ん、で、ア、ン
ド、レ、見、たい、な、ジ、ジ、ム、サイ、事、件、と、し、り、組、む
要、あ、り、ん、や、と、い、う、処、で、あ、ら、う、正、岡、女、史
は、バ、ス、ト、ス、の、連、日、会、を、動、か、し、た、一、か、し
連、日、会、は、総、領、事、館、を、さ、う、動、か、す、か、あ、ら、う
か。

婦人服 お仕立

いたします

新しいモード
流行のモード

御指定の迅速に入念に...
どうぞ御用命下さい

元の上田工場あと、石橋さんの向い
立 花
(鯉もありません)

建物競賣

デポジット

一 コチア産業組合バストス出張所の

裏側にある木造倉庫壹棟

六米×十五米 高サ三米半

ソアリアード

一 入札期日

来る一月十八日〔火〕

午後二時

御希望の方は同日當組合事務所まで御出で
下さい。

詳細御説明申上ひます。

一九五五年一月十四日

コチア産業組合

バストス倉庫

事務所